

# 学校だより



福島県立大笹生支援学校

NO.4 R6.3.1

## 今年度を振り返って

保護者の皆様、地域の皆様、大笹生学園及び関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

今年度は、新型コロナウイルスが5類に移行となり、様々な制限が緩和されました。また、感染者数の減少もあり、通常の教育活動を支障なく行うことができました。しかしながら、感染者がいないわけではありません。インフルエンザの流行もありますので引き続きマスクの着用、うがい手洗いなど、感染予防のための行動はまだまだ必要かと思われます。このような状況から感染予防等に御協力いただいていることに改めて感謝申し上げます。皆様一人一人の努力が児童生徒の「学び」の保障につながっています。

本校では、子どもたち一人一人が輝き、のびのびとそして繊細に健やかに成長することを願って日々の教育活動を行っております。その成長は一人一人違いますが、言葉や表情で伝わるものがたくさんあります。

学習においては、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びの実践に取り組んでいます。障がいの状態に応じて一人一人の能力を発揮しながら「学ぶ意欲」を喚起し、生きる力へとつなげています。今後も児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実により一層努めて参ります。

さて、令和7年度には、安達地区に新たに特別支援学校が開校する予定です。だて支援学校に続き県北地区における特別支援教育の充実と発展が期待されるところであります。

今後も、「地域と共に学び、共に生きる」学校を目指して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大笹生支援学校長 西牧 辰典

### 小学部

小学部では、様々な学年の友達との活動を通して、望ましい人間関係を育んだり、集団の一員として協力する気持ちを育てたりするために、クラブ活動を行っています。「あそびクラブ」「おんがくクラブ」「つくろうクラブ」の中から興味に応じたクラブに所属し、年上の友達を手本にしたり、年下の友達に優しく接したりしながら、1年間交流を深めることができました。



### 中学部

1月17日(水)に学部集会を実施しました。視聴覚室に全員が集まり、学年混合のチームに分かれてターゲットポッチャのゲームを行いました。優勝したチームの代表者には教頭先生から優勝カップの贈呈が行われ、他の生徒からはあたたかな拍手が送られました。また、会の後半には1年1組、2年1・2組、3年1組の生徒による「夢の世界を」の合唱の発表を行いました。息の合ったすばらしい歌声でこれまでの学習の成果が発揮された発表となりました。発表後の充実した生徒たちの表情が印象的でした。



### 高等部

2月6日(火)に、高等部卒業生を送る会が行われました。生徒会役員の生徒たちが中心となり企画運営をし、会を進行しました。各学年、思考を凝らした内容の出し物で3年生に大いに楽しんでもらいました。笑いあり、感動ありの素晴らしい発表となりました。3年生にとっても、とても思い出深い時間になったと思います。また、会場の体育館は華やかな装飾やエール、メッセージなど卒業を祝う在校生の気持ちが表れ、心温まる会となりました。



(学校だよりは HP からご覧いただけます。QR コード)

